

新発田市立川東中学校

中学 2 年生の授業で船と船員の仕事を伝える

新潟支部は、北陸信越運輸局から、船と船員の仕事に関する出前授業の講師依頼を受けて、5 月 21 日、新潟県新発田市立川東中学校 2 年生 31 人の生徒に、船と船員の魅力を伝える授業を実施した。講師は浅野忠行新潟支部長と中川貴史佐渡汽船株式会社海上部門職場委員が担当した。

学校での授業は 5 時限目に浅野忠行新潟支部長から「海運の重要性」として社会科授業と併せ、国民生活に欠かすことのできない貿易貨物の輸出入とエネルギー資源の海上輸送、船員職業の魅力と厳しさ、女性船員の活躍などを伝えた。

6 時限目は中川貴史佐渡汽船職場委員から「船で働く」と題し、佐渡汽船におけるフェリーやジェットフォイルでの船内作業や居住設備・供食体制などを、プロジェクターでの写真や動画を活用し詳しく説明した。

授業中に生徒からは、

- ①船で働く上で大変なことや重要なことは何か。
- ②船酔いしないための方法を教えて欲しい。
- ③外国との貿易量の 99%を船が運び、他の輸送手段に比べエコであることを初めて知った。
- ④海運や船のことはイメージしにくいですが、写真や動画で説明してくれたので理解できた。将来はディズニークルーズに乗ってみたい。
- ⑤小学校の修学旅行で利用した一番身近な佐渡汽船の船の仕事を教えてもらったので、次に佐渡汽船に乗船するときは、もっと興味を持ち乗船したい。一などの質問や感想が寄せられた。

最後に生徒代表から授業に対するお礼が述べられ、中学校での船と船員の魅力を伝える出前講座を終了した。

「海員だより」